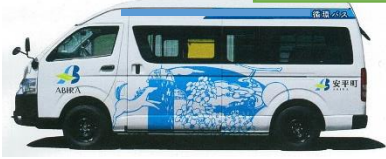


安平町地域公共交通網形成計画(平成29年5月策定)

- ◇ 町民の足を守るため鉄道を維持・確保し、これを補完する地域内循環系統、デマンドバス等の公共交通の位置づけを最適化する
- ◇ 交通拠点の創出による地域公共交通網の利便性向上と町内の回遊・交流空間を促進する交通体系の構築を目指す
- (1) 地域内循環系統の効率化(鉄道との接続向上、バス交通の統合再編など) (2) デマンド交通の効果的運行(鉄道との接続配慮、待合環境の整備など)
- (3) 利用促進策の検討(総合時刻表や路線図等の作成、共通回数乗車券の発行など) (4) 町民協働による意識醸成(ノーマイカー運動、免許返納の推進など)

▶類似していた公営・民営バス路線の統合による「循環バス」の運行(H31.4～)

改善・継続



[住民要望等を踏まえたR2主な改善内容]

- ・早来市街地の自由乗降区間を延伸
- ・一部の便で経由しなかった停留所に停車するよう改善
- ・経由順を一部変更してより効率的なルートに改善
- ・JRのダイヤ改正に対応
- ・プール教室等の健康寿命延伸事業参加者に共通回数乗車券を交付(教育委員会事業)

[循環バス導入の再編効果等]

- ・重複2路線を廃止し、従来機能も踏まえた新規路線に
- ・週4日→平日週5日運行に。1日4便→10便に。
- ・他交通モードとのサービス・運賃バランス(定額200円)
- ・ただ1時間毎に走らせるのではなく、どんな人がどんな目的のために乗るかを具体的に想定した時刻・経路
- ・右記ソフト事業と連携した総合力・相乗効果を期待

▶JRへの緊急的・臨時的な財政支援 ~R2

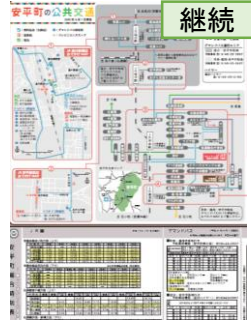
▶デマンドバスのスマホ予約アプリ 拡充

「MONET Bus」の早来エリアへの拡大

民間事業の動き 追分ハイヤーのハイヤー事業が早来エリアまで営業拡大(R2.4.1～)

▶公共交通全体の利用促進策の展開(総合時刻表の配布、共通回数乗車券の発行等)

継続 [時刻表・路線図・利用ガイド]



- ・賢く上手な交通の組合せを啓発(組合せのモデルケースも掲載)
- ・町内公共交通を全て網羅
- ・公共施設や食・宿・生鮮店舗のマップも掲載
- ・各交通モードの車両や乗り方・運賃等を写真や図を用いて案内
- ・乗り継ぎメモとして使える「私の時刻表(名刺サイズ)」も掲載

時刻表掲載ページ→



[共通回数乗車券の発行] 拡充

- ・10枚価格で11枚購入でき、町内の公共交通で使用可能【8/1～鉄道とも連携拡充】
- 50円券は、子ども運賃の支払いに便利!
- 200円券は、循環バスの運賃の支払いに便利!
- 300円券は、デマンドバスの運賃の支払いに便利!
- 3種類の券を1枚ずつ使用すれば、ハイヤー初乗り運賃550円になるので便利!

⇒人口減少にありながらも、単一交通モード利用者を他モードにも利用流動化させ、奪い合いではない全体の活性化に期待

⇒ICカード導入等とは違い安価に導入可能。高齢者にもわかりやすく受け入れられやすい。



▶ノーマイカー運動

(町全体の取組み・町役場での取組み)

①JR室蘭線で行こう! うまかまつり 継続

- ・安平町内最大の祭り「うまかまつり」に、鉄道に乗って参加する方に対してまつり出店商品券を配布
- ⇒鉄道の利用促進(循環バスは休日運休)、町内外からのまつり増客に期待 ※新型コロナ影響でまつり中止

②免許返納者に対する公共交通の利用支援 継続 (運転免許自主返納者支援事業H31.4～)

- ・75歳～80歳を推進年齢とし、年間33,000円の共通回数乗車券を3年間交付(4年目以降16,500円)(80歳以上の自主返納者は、33,000円を1年間)
- ⇒「免許返納×公共交通利用促進」の取組み H28実績4人→導入初年度R1実績37人!

③ノーマイカーデーの実施(町役場での取組み) 継続

- ・月1回以上、通勤に公共交通を利用する運動
- ⇒町職員が率先して鉄道を利用し、町民等にも利用を促す呼び水になることを期待

④出張時の公共交通利用(町役場での取組み) 継続

- ・札幌や苫小牧、岩見沢への公務出張時は、積極的に鉄道を利用

その他、町民団体による駅美化や花植活動などの協働事業、あびらチャンネル等での利用啓発CM、室蘭線活性化協によるSNS発信、JRヘルシーウォーキング等イベント連携など、幅広かつ多様な主体との連携により利用促進策を展開中。 拡充